

FUREAINO MACHIZUKURI

滴翠会会報

2023
月刊

1月号

第385号
平成3年1月創刊

社会福祉法人 滴翠会

新年明けまして おめでとうございます

養護老人ホーム
救護施設
特別養護老人ホーム
デイサービスセンター

滴翠苑
慈翠館
明翠苑
華翠会館

新年を迎えて

社会福祉法人滴翠会

会長 高木 康夫

新年明けまして

おめでとうございます

令和五年の新年を皆様お元氣にお迎えになりましたことを謹んでお喜び申し上げます。今年も新型コロナウイルス感染症予防のため誰もがマスクを着用しての年明けとなりました。一日も早い終息が待たれます。

滴翠会各施設は順調に運営され現在感染者はおりませんが決して油断できません。なお一層の警戒が必要です。今年も無事に本誌一月号が発行されましたが編集委員各位の努力のおかげと心より感謝申し上げる次第です。

今年が皆様にとって良い年であります様お祈りいたします。私も緊張感と期待感と不安感を常に持って、これからの一年を進めたいと思います。



明けておめでとうございます

養護老人ホーム 滴翠苑だより

かすみがうら市横堀四五―一五
TEL 〇二九九―五九―三六三一

新年を迎えて

養護老人ホーム 滴翠苑

施設長 安原 宏一

新年明けましておめでとうございます。皆様には健やかに新年を迎えられたこと、お慶び申し上げます。

昨年、新型コロナウイルス感染症対策を強化しながらの一年となりました。利用者の皆様、ご家族の皆様には、面会や外出、行事の縮小等のご理解ご協力をいただきありがとうございました。

今年もコロナ対策を重視しながらの活動になると思います。情勢を見極め、緩和できるところは緩和しながら、利用者の皆様になるべく不便をお掛けしないように活動していきます。また、いつ起こるかかわらない災害対策にも油断せず、安心で安全な生活を送れるように努めてまいります。

本年も皆様の御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

年頭の辞

新年明けましておめでとうございます。今年も無事に年を迎えられたことを一月四日に年頭の辞を執り行いお祝いしました。

まず始めに君が代斉唱を行い、会長、施設長より新年の挨拶があり、今年の滴翠苑の抱負など話されました。

続いて利用者を代表して千寿会会長より新年の挨拶をされ、今年も健康に楽しく過ごせるようにと挨拶がありました。その後、乾杯をしてお菓子を召し上がりました。最後に記念撮影をしてお開きとなりました。

昨年、また新型コロナウイルスの影響を受けた一年となりました。いまだ終息の兆しは見えませんが、その中でも利用者の皆様が健康で楽しく安心して生活できる環境づくりを心掛けていきたいと思っております。



クリスマス サンタさんからプレゼント

クリスマス忘年会

十二月二十二日に集会室でクリスマス忘年会を行いました。

ステージには利用者の皆様に飾り付けて頂いたクリスマスツリーや風船などが煌びやかに飾られて、クリスマスモードが高まる中で「きよしこの夜」を合唱し会が始まりました。「ジングルベル」と「おもちゃのチャチャチャ」を鈴やタンバリンで合奏し会場は盛り上がりしました。またくじ引きゲームを行い、それぞれにお菓子の賞品をもらって楽しみました。その後乾杯し、苺のショートケーキを頂きました。

最後にサンタクロースとトナカイが登場して、お菓子のプレゼントをもらって、クリスマス忘年会はお開きになりました。

年内最後の行事はとても楽しく終わることができました。

歌い初め

滴翠苑では、週に二回余暇活動の一つとしてカラオケを行っています。

一月一日に今年も元氣よく歌を歌えますように願いを込めましてカラオケを行いました。

皆さん十八番の歌を元氣よく歌って頂きました。

カラオケは身体的にも精神的にも良い効果があるとされています。歌う事で筋肉が鍛えられます。それにより血液の循環が促進されます。えん下機能の改善も見込まれます。また歌う事でストレス解消や認知機能の低下も防げるとの事です。

コロナ禍に負けず元氣に歌って健康に一年を過ごして頂きたいと思います。

✳ 1月の行事

年頭の辞
新年会・初詣

1月4日
1月17日



あけまして おめでとうございます

●救護施設
慈翠館だより

石岡市半ノ木一四六一
TEL 〇二九九―二四―二八七一

新春を迎えて

救護施設 慈翠館

施設長 磯島

肇

明けましておめでとう御座います。

今年の千支卯の年は飛躍・向上の年と言われています。過去を振り返ると十二年前と言えば大規模な地震災害東日本大震災が起きています。甚大な被害を受けましたが、様々な支援により飛躍的に復興をしてみました。

昨年は、コロナ感染により家族との交流もままならず、買い物、旅行にも行けず、閉鎖的なストレスの溜まる、施設生活を送ってきました。

飛躍・向上の年と言われる卯年を迎える新年、行動制限緩和が成されている現在、尚一層の衛生管理に努め感染前の生活より、一段向上した施設生活を図れるよう、新しい施設の構築に努めてまいります。

翠会会長あいさつ

翠会会長 大信 普三雄

新年明けましておめでとうございます。

今年もまた元気な姿で新年を迎える事が出来、利用者一同大変嬉しく思っています。

慈翠館ではこれまで、利用者が新型コロナウイルスに感染する事なく過ごす事が出来ています。これも皆さんが日頃から手洗い・うがいをきちんとしているからだと思います。

今年は飛び跳ねるうさぎ年という事で皆様にとって素晴らしい飛躍の年になっていける事を願っています。

また、翠会としても、慈翠館がこれからより良い生活の場となる様に努力していきたいと思っています。どうぞ宜しくお願いします。



新年式の様子

新年式

慈翠館では毎年元日に新年式を行っています。今年も利用者とともに無事に新年を迎えられた事に感謝しています。

新年のあいさつのなかで、利用者代表のみどり会会長からは、干支のうさぎにちなみ、明るく飛び跳ねて様々な困難もみんな乗り越えていきましようという挨拶がありました。

会食ではビールや甘酒で乾杯し、お節料理を堪能しました。年に一度のお節料理を心待ちにしていた皆さんは、楽しそうに会話しながら召し上がっていました。

新年式のあとは恒例の記念撮影です。皆さん、素敵な笑顔で撮影することができました。幸先のよいスタートとなりました。今年も健康で穏やかな一年になりますよう、願っています。

七草粥

慈翠館では、一日早いですが一月六日の昼食に七草粥の提供を行いました。入れる野菜は、セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロで「春の七草」と呼ばれています。

「七草粥」は日本古来から伝わる伝統食で、毎年一月六日の夜から作り始め、七日の朝に食べるお粥です。旧年の邪気を祓い、一年の無病息災を願うと同時に、お正月の御馳走に疲れた胃腸を休め、冬場に不足しがちな野菜を食べ栄養補給をするという意味があるようです。

七草粥を心待ちにしていた利用者の方々は、あっという間に食べ終わり、もっと食べたかったという声を頂きました。利用者の皆様が一年間健やかに暮らせるように願っています。

＊1月の行事

新年式
七草粥
感謝祭

1月1日
1月6日
1月17日



新年を迎えて

●特別養護老人ホーム

明翠苑だより

石岡市半ノ木一四八一一
TEL 〇二九九―三三―九六二〇

新春を迎えて

特別養護老人ホーム 明翠苑

施設長 松田 順一

明けましておめでとうございます。

利用者の皆様が、例年通り何事もなく無事に新年を迎えられましたことを謹んでお慶び申し上げます。

令和も五年目に入りましたが、いまだに新型コロナウイルスは収束せず、物価高騰の高波もあり、施設運営にも少なからずの影響が出ています。

一般的にはコロナに対する警戒が希薄になってきたように感じますが、高齢者施設に携わる者からすると、まだ樂觀できない状況です。面会などに制限が設けられて、間もなく三年になります。ご家族の皆様にもご不便をおかけしており恐縮です。

利用者の皆様には、明翠苑でお変わりなく過ごしていただけるよう努めて参りますので、本年もよろしくお願ひ申し上げます。

年頭の辞

明翠苑では、年初めの行事となる「年頭の辞」を一月四日に行いました。「年頭の辞」とは、利用者様と職員が一堂に会し、新年の挨拶をするという慣例行事です。

式典では、会長、施設長より新年の挨拶があり、今年も元気にお過ごしくださいなどのお話がありました。

利用者を代表して万寿会会長より新年の挨拶もあり、今年も皆さんと一緒に明るく、元気に、楽しく過ごしていきます。きましようなどの抱負もありました。

職員からも新年の挨拶があり、一生懸命皆さんの支援をしていきますなどの話がありました。最後に利用者様・職員で記念撮影を行いました。

新型コロナウイルスが流行し二年十か月がたち、いまだ収束していませんが、利用者様が健康で楽しく過ごしていけることを心より願っております。今年もよろしくお願ひいたします。

ふぁみりー通信

12月の出来事

12月1日「座談会」を行いました。
今月の予定を説明したり、利用者様からの要望などを伺ったりしました。その後、万寿会誕生会を行い、誕生者にプレゼントをお渡ししました。

12月6日 ふらんす亭喫茶を行い、一番人気は「芋ようかん」でした。皆さん「美味しい」と喜ばれていました。

12月18日 クリスマス忘年会としておやつに特製プリンを召し上がって頂きました。皆さん「美味しい」と話されていました。

12月22日「冬至」で数日に分けて皆さんにゆず湯に入ってもらい、日本の風習を味わいました。皆さん「温まった」「匂いがいいね」と喜ばれていました。

12月31日 大晦日ですので、昼食に「年越しそば」を皆さんで頂きました。来年もたくさんの幸福が来ることを願っています。

明翠苑ニュース

(12月分)

面 会	0件	延0名来苑
外 出	0件	外泊0件
ショートステイ	3名	延32日利用

明翠苑の「日常あ・れ・こ・れ」

寒さ対策

今回は、明翠苑の寒さ対策を紹介したいと思います。

今年も昨年と同等の寒い日が続くと予想されていますが、昨年と大きく違うところは、電力の逼迫による電力不足に陥る可能性があるということです。また、電気料金も高騰しており、明翠苑では例年に増して、できるかぎり節電を心がけております。

しかし、いくら節電といっても利用者様の健康を損なっては問題ですので、できる範囲で実施し、寒さ対策をして利用者様の健康管理には十分注意してまいります。

苑内では、加湿器を使い湿度を上げたり、サーキュレーターやシーリングファン（天井扇風機）を使用して空気を循環させ足元が冷えないようにしております。

厚手の衣類などを着たり、ひざ掛け・レッグウォーマー・ニットの帽子なども使用している利用者様もいらっしゃいます。おしゃれなスカーフなどもしている方もいます。

寝具は、羽毛布団を使用しており、利用者様からは「温かい」「よく寝れる」などの話も聞かれます。

一年で一番寒い季節ですが暖かくして乗りきって行きましょう。



すごろくで新年を楽しむ利用者様

●デイサービスセンター
かすいかい
華翠会館だより

石岡市半ノ木一四八〇
TEL 〇二九九―二三―八二〇〇

新年を迎えて

独立型デイサービスセンター 華翠会館

施設長 松田 順一

新年おめでとうございます。利用者の皆様が、平穩に新年を迎えられたことを嬉しく思います。

華翠会館ご利用の皆様は、お元気です。もちろん、高齢でもあり、病気を患っていたり、体が不自由な方がほとんどです。それでも元気です。意欲的であったり、活力があったりもします。お元気だからデイサービスにいらしているのか、デイサービスにいらしているからお元気なのか。おそらく後者ではないかと思えます。

規則的に華翠会館にいらつしやり、人と話をしたり、体や頭を動かしたりすることによって健康が保たれているのではないかと思います。もし、自宅にお一人で一日中テレビを見ていたらどうでしょうか。

皆様に喜んでいただけるよう頑張りますので今年も宜しくお願い致します。

翠すい **進**しん **会**かい

社会福祉法人滴翠会 退職職員後援会

滴翠会を退職された皆様の親睦と互助を進めます。

明翠苑居宅介護 支援センターだより

石岡市半ノ木一―四八―一―
TEL 〇二九九―二三―九六三四

新年を迎えて

新年明けまして

おめでとうございます。

令和五年の輝かしい新春を、皆様健やかに迎えになりましたことを謹んでおよろこび申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。さて今年最初の支援センターだよりは新常陸國風土記の再開でスタートします。

「新常陸國風土記」(第七回)

水戸 WALKER (前編)

今回の新常陸國風土記は県民心の都、水戸です。県央部に位置する水戸市は人口約二七万人の県庁所在地。江戸時代以来、

政治／経済／文化の中心的役割を果たしています。「水戸」地名の由来ですが字の如く「みずのと」です。海や川の水の出入口を「みと」と言い（現在の旧県庁庁舎辺り、常陸國大掾(国司)馬場氏の館が置かれた場所が那珂川と千波湖に挟まれる形で水辺に接していたことから水戸と呼ばれるようになったそうです。水戸はご存知の通り徳川幕藩体制時に御三家(他は尾張／紀州)として存続。参勤交代を免除され藩主が江戸常府であったことから庶民に俗称として副將軍と呼ばれるようになったそうです。

さて歴史の残り香を感じながら散策といきましょう。お勧めは▼駅北口地下駐輪場のレンタサイクル(電動アシスト付を身分証明証を忘れずに)。まず目指すは▼県指定史跡、水戸城跡。▼復元大手門は必見です。土塁に取り付く櫓門としては国内最大級。親藩水戸徳川家の威厳を体感。▼門右手には復元角櫓。内部見学も可能。

大手門を過ぎると▼彰考館。光圀公が編纂を命じた「大日本史」の史局跡。現在は資料館が建っています。直進すると水戸城本丸へ。▼趣ある薬医門を見学。来た道を戻ると目の前には▼弘道館。幕末日本の歴史上、重要な役割を果たした藩校です。内部は一般公開され見学可能。当時は日本最大級の藩校で数多の俊才を輩出した名門。見学後は旧県庁庁舎を囲む土塁や空堀を眺めながら広大な城の縄張りを感じましょう。▼この辺でちょっと一服。水戸銘菓はいかがですか。

中央郵便局を左手に信号を右折。すぐ左手に瓦屋根の和菓子店(▼木村屋本店さん)が。お勧めは▼水戸の梅(餡と求肥を赤紫蘇で包んだもの)紫蘇葉の筋を取り除き砂糖を塗してあるのが特徴。大量生産の物とは一線を画す手作りの逸品。創業一八六〇年の老舗の業が光ります。次号も県都水戸の魅力に迫ります。

ケアマネジャー 岡野 貴

私の^{メニュー}MENU

☆鮭ときのこののろろグラタン

山芋を使うことで、ホワイトソースいらずで作れる簡単ヘルシーなグラタンです。

●材 料 (2人分)

生鮭 2枚(160g)／玉ねぎ ½玉／しめじ ½パック
ほうれん草 2枚／山芋 200g／にんにく 1片
オリーブオイル 大さじ½／ピザ用チーズ 40g
刻みパセリ 少々／塩・こしょう 各少々

●作り方

- ① 鮭はひと口大に切り、塩、こしょう少々下味をつける。しめじは石づきを取り手でほぐす。ほうれん草は根元を切り5cmの長さに切る。山芋は皮をむきすりおろす。
- ② フライパンに、にんにくとオリーブオイルを入れ弱火にかけ、香りがたったら鮭と玉ねぎを入れ中火で炒める。
- ③ 玉ねぎが透き通ってきたら、しめじを加え、ほうれん草を軽く炒め合わせ、塩、こしょうで味をととのえる。
- ④ ③を耐熱容器に入れ山芋とピザ用チーズをのせ、トースターで5分ほど加熱する。仕上げにパセリを振る。

滴翠苑 管理栄養士 高田 恵美子

今月のことば 87

歩み入り来る者にやすらぎを
去り行く者に幸せを

新年あけましておめでとうございます

本年もよろしく

お願い致します。

「滴翠会会報」編集委員

滴翠苑

施設の生活の様子を分かりやすくお届けできるよう心掛けていきます。

安田 友哉

慈翠館

滴翠会利用者の、素敵な日々を伝えてゆきます。

萱場 崇麿

利用者の日常が伝わるような紙面作りを目指して行きます。

島田 みやま

利用者の日常をわかりやすく伝えてゆきたいと思います。

勝田 善子

明翠苑

明翠苑の出来事を皆様にわかりやすく伝えてゆきたいと思います。

小林 豊

華翠会館

コロナに負けず、元気な皆様の様子を届けていきたいと思ひます。

櫻井 優子

明翠苑居宅介護支援センター

福祉に携わる人々の思いや、身近な街の様子を伝えていきます。

岡野 貴

